

平成28年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」検証シート

大阪市立榎本小学校

児童数

123

平均値

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	16.32	17.02	23.38	39.81	55.98	9.27	150.77	22.13	50.73
大阪市	16.39	19.24	32.42	39.47	48.99	9.37	147.87	22.59	52.61
全国	16.47	19.67	32.87	41.97	51.89	9.38	151.39	22.42	53.92
女子	15.99	16.71	30.52	38.68	45.39	9.70	146.79	13.27	53.31
大阪市	16.20	18.22	36.84	37.74	39.18	9.62	142.12	13.94	54.30
全国	16.13	18.60	37.21	40.06	41.29	9.61	145.31	13.88	55.54

結果の概要

男女とも「20mシャトルラン」の項目では、全国平均を4ポイント以上上回る結果は特筆できる。また、男子の「50m走」と女子の「立ち幅跳び」の項目において全国平均を上回っている。その他の項目については、全国を下回る結果になった。しかし、男女「握力」・男子「立ち幅跳び」・女子「50m走」は全国平均と僅差であった。

課題としては、男子において「長座体前屈」・「上体起こし」の2項目については、全国平均を大きく下回る結果となってしまった。また、女子についても男子同様に「長座体前屈」・「上体起こし」の2項目において全国平均を大きく下回る結果となった。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

本校は、これまで多くの種目において大阪市・全国を下回ることが多かった。昨年度までの結果をもとに、運動に関して各学年が引き継ぎを行ってきた。

学校全体で取り組んでいる、ユニバーサルデザインを体育の授業に取り入れ話し合い活動を活発に行ってきた。「友達同士やチームの中で話し合う活動」では男女ともに高い値を得た。これは、ユニバーサルデザインの取組の成果であると考える。

特に苦手としていた運動を中心にはじめ、体のどの部分の力が使われているのか」「どういった運動が、各種目の伸びにつながるか」といったことを考えながら、児童の実態に合わせて指導を工夫し継続して取り組んだ。基本の運動を中心に、走るときの前傾姿勢やボールを投げる時の体の使い方、立ち幅跳び時の腕の振り、膝の使い方など丁寧に指導も行った。また、運動に対する技術の向上と意欲や関心を高めるために鶴見区役所主催の「夢創造プロジェクト」に応募し、スポーツのすばらしさを目の当たりにすることができるよう努めている。その結果、少しづつではあるが、体力テストの結果についても伸びが見られるようになってきた。

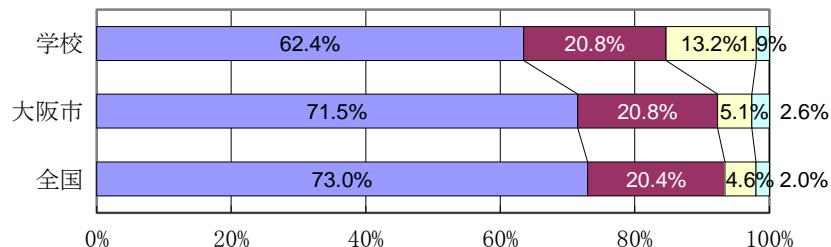
しかし、全種目で結果が出ているわけではない。児童の無理ない筋力アップや基礎体力の向上など今後の課題として、取り組む必要がある。

運動やスポーツについて（男子）

質問番号	質問事項
------	------

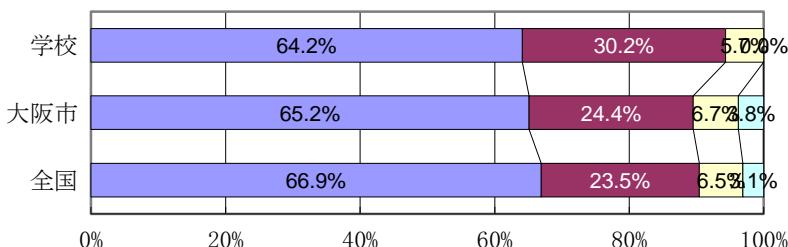
1

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか



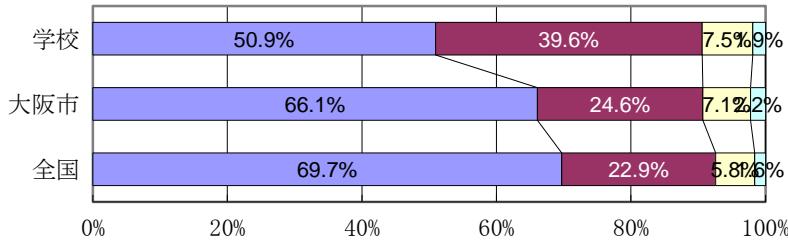
3

自分の体力に自信がありますか



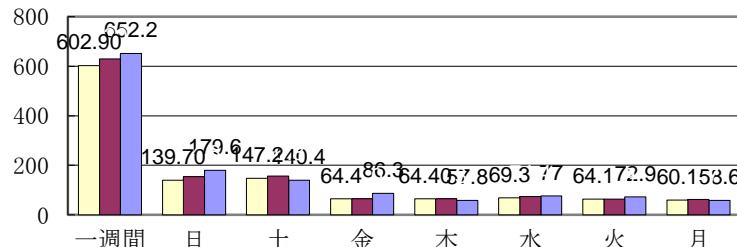
4

あなたにとって運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツは大切ですか



6

ふだんの1週間について聞きます。学校の体育の授業以外で、運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツを、合計で1日およそ何分くらいしていますか。



成果と課題

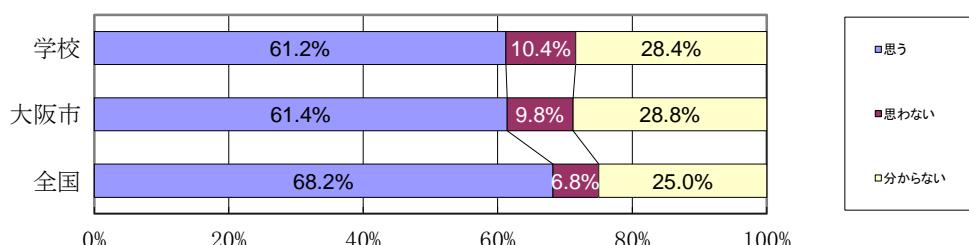
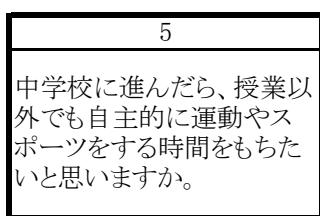
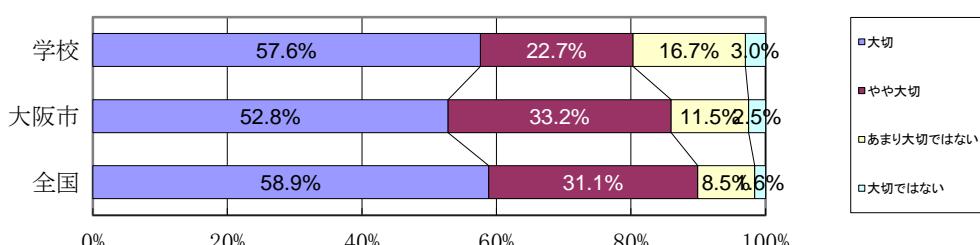
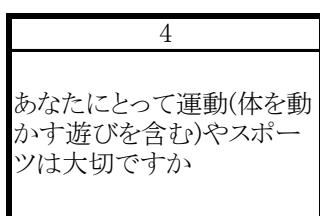
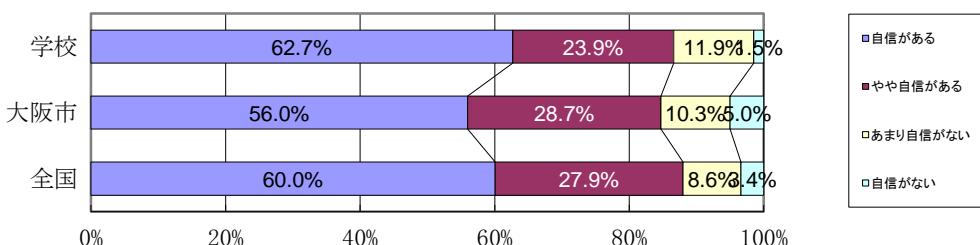
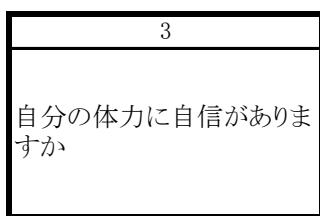
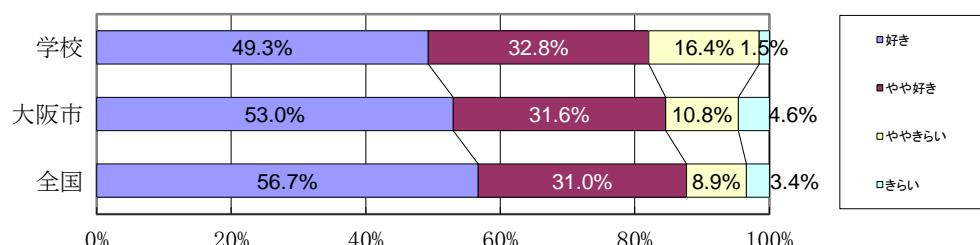
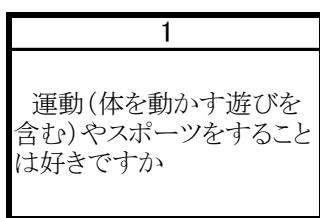
- 自分の体力に自信がある児童は、全国平均より高い。また、授業時間以外に運動をしている時間も全国平均より上回っていることが見て取れる。
- 運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですかの項目において好きと回答している児童が全国平均より10ポイント低い結果となった。

今後の取組

体力に自信があり、運動をしている児童が多いが、運動やスポーツをすることが好きであるという割合が低いことに対して、体育科の学習や健康指導、出前授業等で体を動かすことの楽しさや大切さを感じさせる取り組みを継続して行う必要がある。その中で、「運動やスポーツをすることが好き」という気持ちを育てていきたい。

運動やスポーツについて（女子）

質問番号	質問事項
------	------



成果と課題

- ・自分の体力に自信が「ある」「ややある」と答えた児童は86. 6%で大阪市平均、全国平均を上回っている。また、「自信がない」と答えた児童は、1. 5%であった。
 - ・運動やスポーツをすることが「大切」「やや大切」と答えた児童は80. 3%で全国や大阪市の平均を下回っている。また、「大切でない」と答えた児童は3%であった。
 - ・運動やスポーツをすることが「好き」「やや好き」の児童は、86. 6%全国や大阪市の平均を下回っている。体力に自信があると答えていた児童は多いものの、運動やスポーツが好きではない大切ではないと感じている。

今後の取組

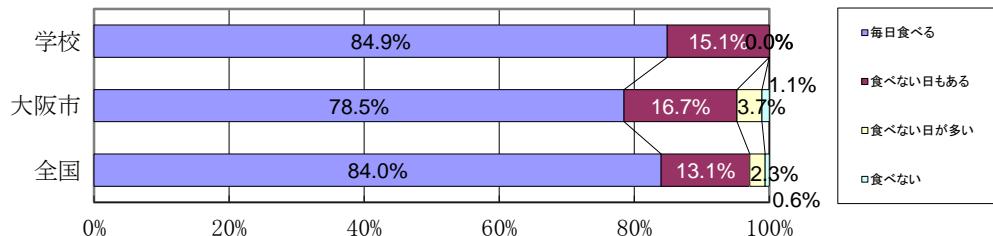
- ・運動やスポーツをすることが「きらい」と感じている児童に対して、運動の楽しさや魅力を伝えていくとともに、「できる」体験を味わわせることができるように、日々の体育科の授業の充実を図る。
 - ・中学校に進んだら、授業以外でも自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたいという質問について、今は「わからない」と答えている児童が3割程度いるので、中学校とも連携しながら、運動に対する意欲や関心を高めていくことができるようとする。

ふだんの生活について（男子）

質問番号	質問事項
------	------

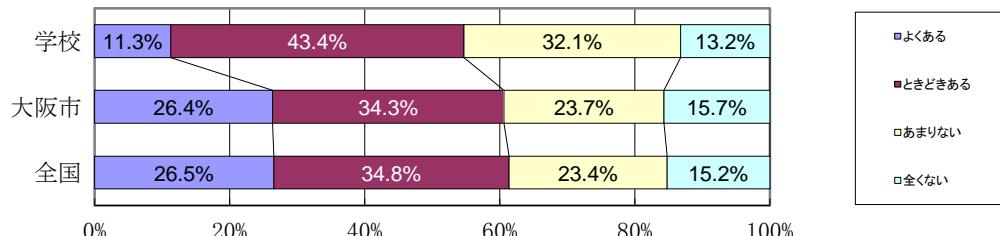
7

朝食は毎日食べますか(学校が休みの日もふくめます)



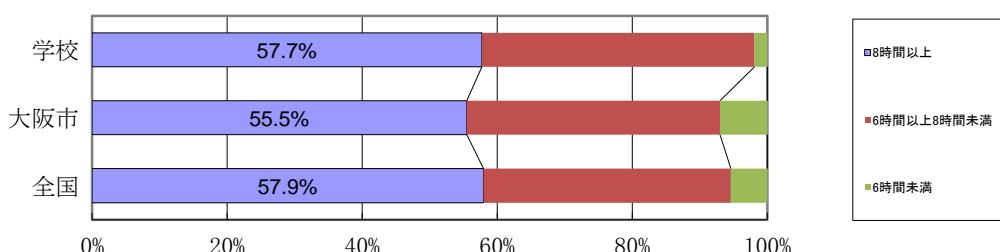
13

家人の人から運動やスポーツを積極的に行なうことをすすめられますか



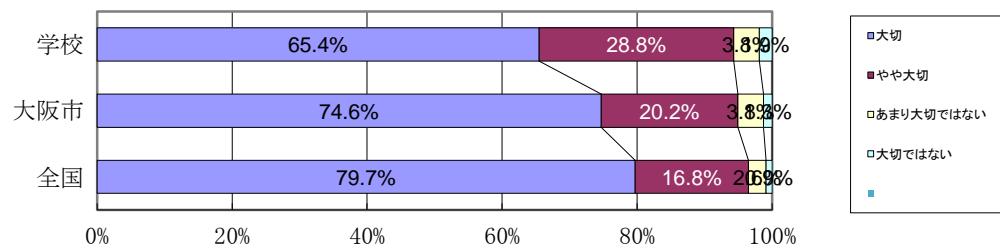
9

毎日どのくらいねていますか。



14

あなたが健康でいるために運動を行うことはどのくらい大切だと考えていますか。



成果と課題

- 朝食は「毎日食べる」「食べない日もある」という児童がほとんどで「食べない」という児童は0であった。また、6時間以上寝ている児童もほとんどであった。
- 家人の人から運動やスポーツを積極的に行なうことをすすめられることが「よくある」「ときどきある」の児童は54.7%で全国や大阪市の平均を下回っている。
- あなたが健康でいるために運動を行うことは「大切」「やや大切」と答えた児童は94.2%いたが、全国や大阪市の平均を下回っている。

今後の取組

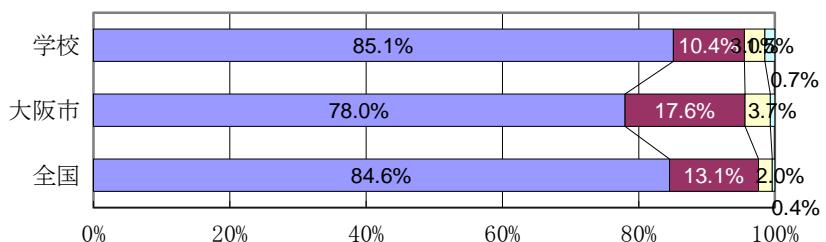
- より一層運動の大切さや興味関心を持たせるために、引き続き区役所主催の「夢創造授業プロジェクト」等、運動やスポーツを身近に感じることができる取組を進めていく。
- 生涯にわたって運動に楽しむことができる子どもを育てるために、運動やスポーツの良さ・魅力等を保護者とも連携していく。

ふだんの生活について（女子）

質問番号	質問事項
------	------

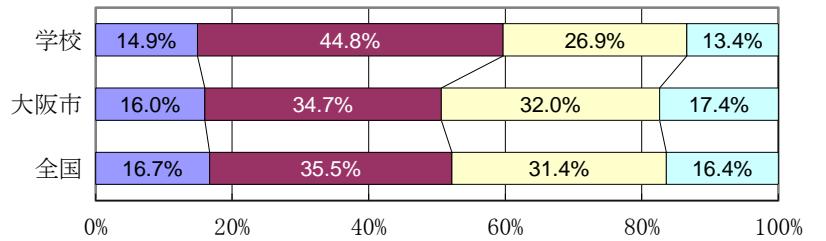
7

朝食は毎日食べますか（学校が休みの日も含めます）



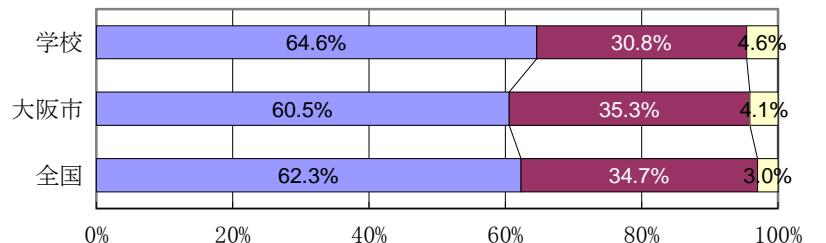
13

家人の人から運動やスポーツを積極的に行なうことをすすめられますか



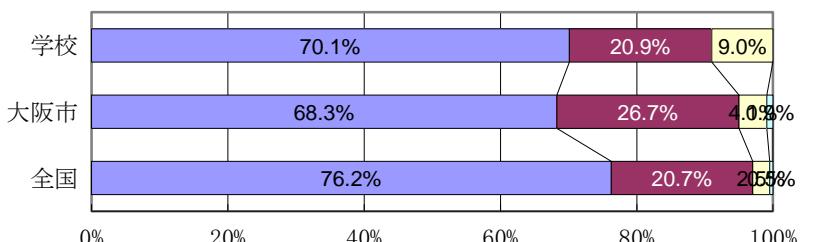
9

毎日どのくらいねていますか。



14

あなたが健康でいるために運動を行うことはどのくらい大切だと考えていますか。



成果と課題

- ・朝食は「毎日食べる」「食べない日もある」という児童がほとんどで「食べない」という児童は1.5%であった。また、6時間以上寝ている児童もほとんどであった。
- ・家人の人から運動やスポーツを積極的に行なうことをすすめられることが「よくある」「ときどきある」の児童は59.7%で全国や大阪市の平均を大きく上回っている。
- ・あなたが健康でいるために運動を行うことは「大切」「やや大切」と答えた児童は91%いたが、全国や大阪市の平均を下回っている。

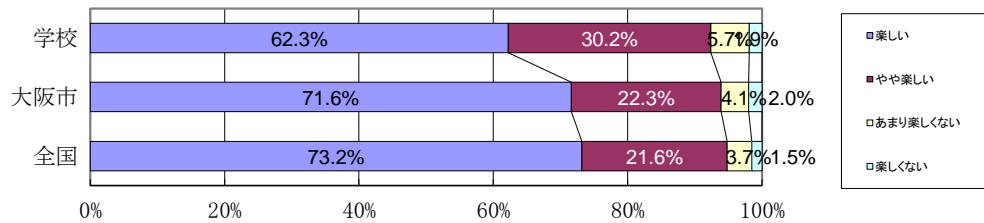
今後の取組

- ・より一層運動の大切さや興味関心を持たせるために、引き続き区役所主催の「夢創造授業プロジェクト」等、運動やスポーツを身近に感じることができる取組を進めていく。
- ・家人の人から運動やスポーツを積極的に行なうことをすすめられることに対して平均以上であったがより生涯にわたつて運動に楽しむことができる子どもを育てるために、運動やスポーツの良さ・魅力等を保護者とも連携していく。

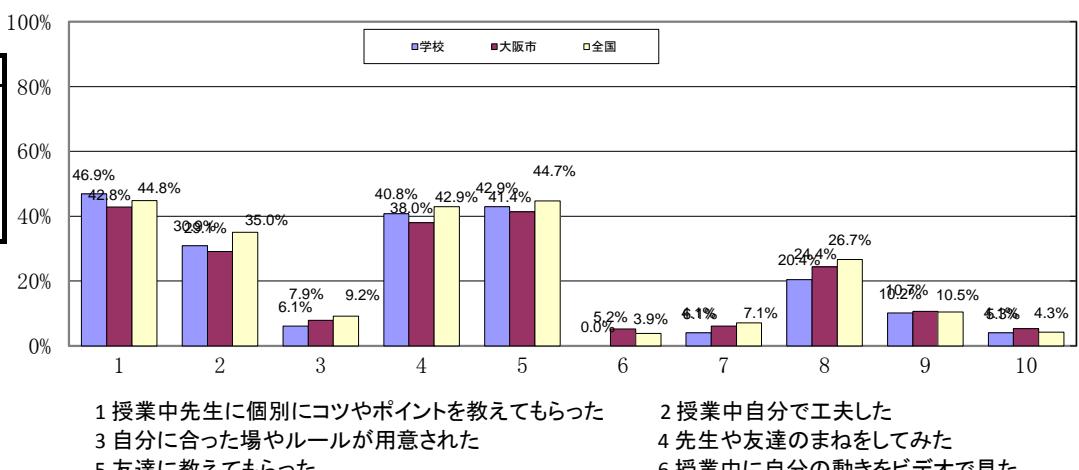
体育の授業について（男子）

質問番号	質問事項
------	------

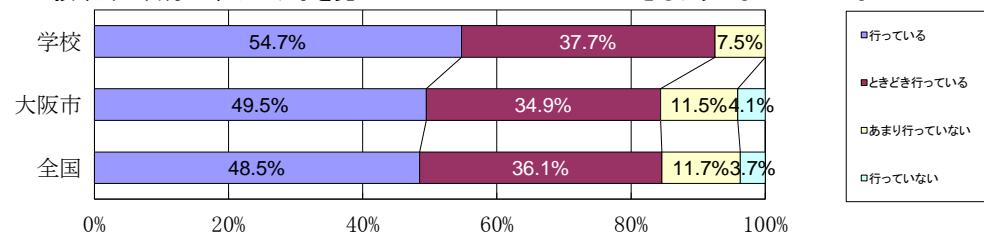
17	体育の授業は楽しいですか
----	--------------



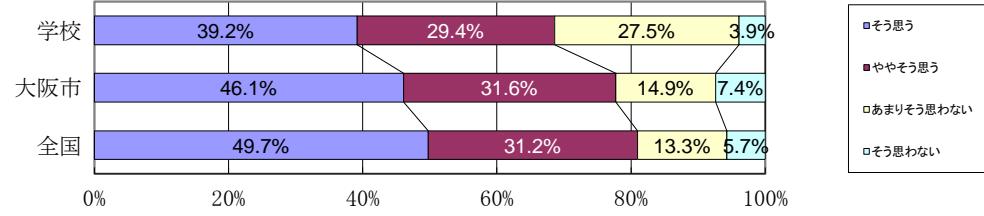
22	これまでの体育の授業で「できなかったことができるようになった」きっかけ、理由はどのようなものがありましたか
----	---



21	ふだんの体育の授業では、友達同士やチームの中で話し合う活動を行っていますか。
----	--



24	今、体育の授業で学習している内容は、あなたの将来に役に立つと思いますか。
----	--------------------------------------



成果と課題

- ・体育の授業は「楽しい」「やや楽しい」の児童は、92.3%であるが、全国や大阪市の平均を少し下回っている。
- ・体育の授業でできなかったことができるようになったきっかけとしては「授業中先生に個別にコツやポイントを教えてもらった」が一番高く46.9%であった。また、「授業中自分で工夫した」「友達に教えてもらった」は大阪市の平均より少し上回ったが、「授業外で自分で練習した」は全国や大阪市の平均より大きく下回った。
- ・今、体育の授業で学習している内容は、あなたの将来の「役に立つと」「やや役に立つ」と答えた児童は68.6%で全国や大阪市の平均を大きく下回った。しかし、「そう思わない」児童は、全国や大阪市の平均よりかなり少ない。

今後の取組

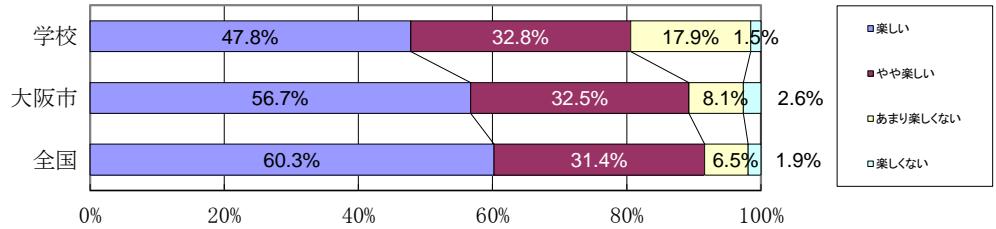
- ・体育の授業を楽しいと感じている児童が、9割以上と非常に多いので、さらにできる喜びを味あわせたり頑張ることの大切さを教えたりすることができるようになる。
- ・体育の授業で友達同士やチームの中で話し合う活動を行う中で、体育の楽しさや学習内容が将来に役に立つと実感できるように日々の授業の充実に努める。

体育の授業について（女子）

質問番号	質問事項
------	------

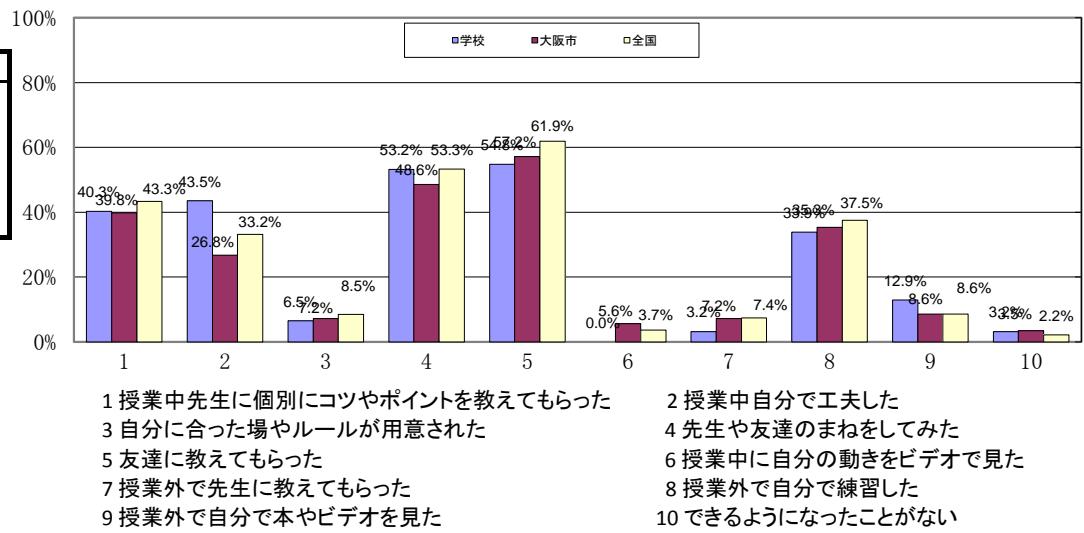
17

体育の授業は楽しいですか



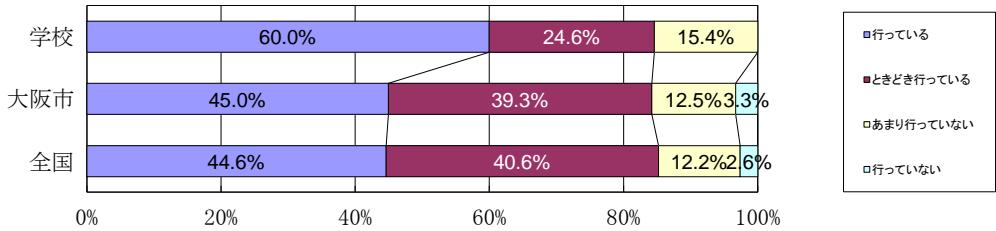
22

これまでの体育の授業で「できなかったことができるようになった」きっかけ、理由はどのようなものがありましたか



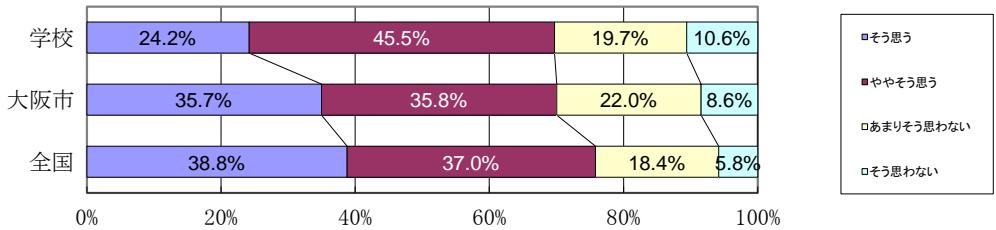
21

ふだんの体育の授業では、友達同士やチームの中で話し合う活動を行っていますか。



24

今、体育の授業で学習している内容は、あなたの将来に役に立つと思いますか。



成果と課題

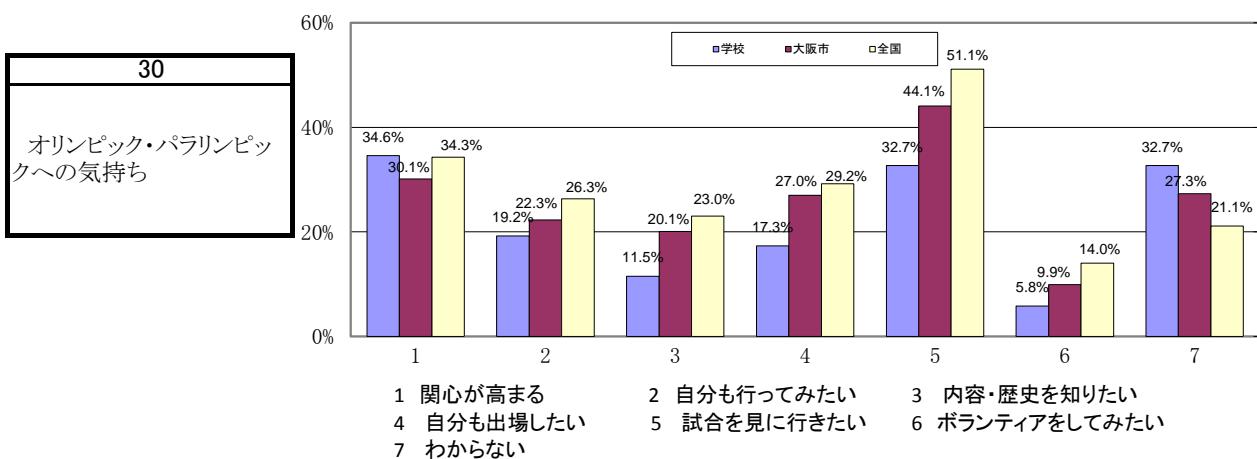
- ・体育の授業は「楽しい」「やや楽しい」の児童は、80.6%で、全国や大阪市の平均より大きく下回った。しかし、「楽しくない」と答えた児童は、1.5%で、全国や大阪市の平均より下回っている。
- ・これまでの体育の授業で、できなかったことができるようになったきっかけとして、「先生や友達のまねをしてみた」が一番高く、53.2%で大阪市の平均より大きく上回っている。
- ・今、体育の授業で学習している内容は、あなたの将来に役に立つと「思う」「やや思う」と答えた児童は、69.7%で大阪市の平均と同等の結果であった。

今後の取組

- ・男子に比べると女子は、友だちに教えてもらうことでできるようになると感じているので、体育の授業内で話し合う場面や仲間を見合ったり教え合ったりする時間や友だちと交流する時間の確保に努める。その中で、できる経験をさせることで体育は楽しい、体育の授業で学習している内容が将来に役に立つと実感できるよう、日々の授業に取り組んでいく。

その他（男子）

質問番号	質問事項
------	------



成果と課題

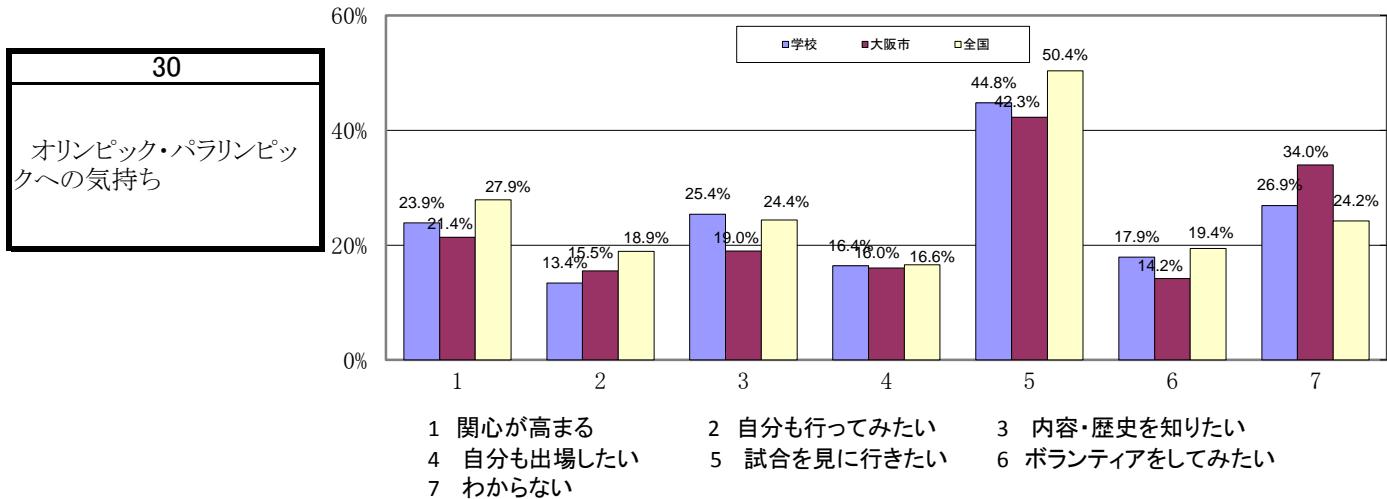
- ・オリンピック・パラリンピックへの気持ちとしては、「関心が高まる」が最も高く34.6%で全国や大阪市の平均より高い値であった。しかし、その他の項目は、全国や大阪市の平均を大きく下回っている。また、「わからない」と答える児童が1/3程度見られ、全国や大阪市の平均よりもかなり高くなっている。
- ・体力テストの結果や体力の向上について、自分なりの目標を「立てている」と答えた児童は73.5%で全国や大阪市の平均を大きく上回っている。

今後の取組

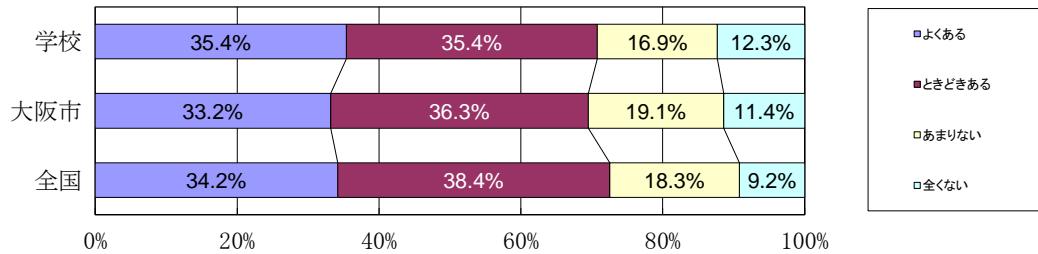
- ・体力テストの結果や体力の向上について、自分なりの目標を「立てている」と答えた児童は全国平均を大きく上回っている。また、オリンピックがあることで運動に関心を高めている。この実態をふまえ体育の授業等で計画的に目標を与え「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」での各種目の数値を上昇させていきたい。

その他（女子）

質問番号 質問事項



27 放課後や学校が休みの日に、運動部活動や地域のスポーツクラブ以外で、運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをすることがありますか



成果と課題

・オリンピック・パラリンピックへの気持ちとしては、「試合を見に行きたい」が全国や大阪市の平均と同様に一番ポイントが高く44.8%であった。しかし全国や大阪市の平均値と比べ低い数値となっている。また、「内容・歴史を知りたい」「自分も出場したい」については全国や大阪市の平均とほぼ同一数値となっている。

・放課後や学校が休みの日に、運動部活動や地域のスポーツクラブ以外で、運動やスポーツを「よくする」「ときどきする」と答えた児童が90.8%で大阪市の平均を上回っている。

今後の取組

・放課後や学校が休みの日に運動やスポーツを積極的に行っていない児童が約3割を占める。運動の楽しさや大切さを高め体育以外でも体を動かすように計画して体育的行事を実施し、運動することへの意欲・関心を高めることができるようとする。